

# 社民党県連合「参院選で野党共闘を呼び掛け」

富山新聞 2022. 4. 6.

参院選候補一本化  
野党間協議求める  
社民党県連合  
社民党県連合の島村進代表は5日、県庁で会見し、夏の参院選県選挙区について

野党共闘の必要性を訴える  
島村氏(中央) 県庁



て、候補一本化に向けた野党間協議を各党に求める方針を示した。島村氏は「1

対1の分かりやすい構図で、県民に選択肢を示したい」と述べた。  
島村氏は党の公認候補の擁立については「正直に言っただけで至っていない」と否定的な見解を示した。その上で「現状は政党間の協議も行っていない。候補が乱立すれば争点もはつきりせず、投票も低調になる」と強調した。  
会見では、ロシアのウクライナ侵攻を非難し、10日に富山市のサンシップとやまで恒久平和主義をテーマに公開講座を開くと報告。

参院選全国比例に出馬予定の大橋裕子副党首が同日、同市内で街頭演説する。会  
見には上田武県連合副代表、青木美保子幹事長も同席した。

北日本新聞 2022. 4. 6.

## 参院選で野党 共闘呼び掛け

社民党県連 島村代表

社民党県連の島村進代表は5日、県庁で記者会見し、夏の参院選に向け「野党候補の一本化を実現するため、協議する場が必要だ」と野党共闘を呼び掛けた。  
富山選挙区を巡っては、自民党の現職、立憲民主党と共産党の新人が立候補を表明。日本維新の会と国民民主党も擁立を検討している。社民党は独自候補の擁立が難しく、野党候補を支援する方針。島村代表は、どの政党の候補で一本化すべきかについては明言せず「どこに対等な立場で協議したい」と強調した。